

## 塗装環境

1. 一般には日の出後2時間経過してから塗装を始め、日没2時間くらい前に作業を打ち切り、条件の良いうちに乾燥させることが望ましい(気象条件による)。
2. 以下の条件の時は塗装しないで下さい。  
① 気温が5℃以下 ② 露点との差が3℃以内 ③ 相対湿度80%以上 ④ 降雪雨または、その恐れのあるとき(屋内塗装を除く) ⑤ 強風するとき
3. 塗装時及び塗料取扱い時は、換気を充分に行ってください。

## 素材

1. 鉄・ステンレス(目粗し必要)に対して良好に密着します。その他の素材についてはご相談下さい。
2. 素材ごとに耐熱温度は異なりますのでご注意ください。また化成処理皮膜への塗装はご注意ください。

素 材	耐熱温度
電気亜鉛メッキ鋼板	200℃まで
溶融亜鉛メッキ鋼板	400℃まで
アルミメッキ鋼板	400℃～500℃まで
アルミ合金	500℃まで
普通鋼板	600℃まで
ステンレス	800℃まで

その他：リン酸塩などで処理された化成被膜 200℃～300℃まで

## 素地調整

1. 素地調整の良否は塗膜性能に大きく影響します。素地調整は基本的に1種ケレンを行ってください。  
1種ケレンが不可能な場合は、旧塗膜・錆・ミルスケール等を完全に除去して下さい(2種ケレン)。
2. 素地調整により生じた塵埃・鉄粉等を、エアブロー・ハケ・ウエス等で除去して下さい。
3. 素地調整後の被塗面は錆びやすいので速やかに塗装して下さい。
4. 結露面には塗装しないで下さい。

## 塗料・溶剤の取扱い

1. 他種塗料との混合はしないで下さい。また同種類のテルパスでも違う品種との混合は避けて下さい。
2. 塗料中に水・油及び異物等が混入すると、塗膜異常の原因となります。また、開缶は原則として使用する前に行い、開缶したものはその日のうちに使用することが望ましい。
3. 塗料には比重の重い顔料を配合しているため、沈殿しやすい傾向にあります。使用する際には容器の上部を全開し、底の沈殿物がなくなるまで充分攪拌して、均一な状態として下さい。
4. 希釈する際には指定の希釈材を使用して下さい。
5. 可燃性の有機溶剤を使用しているため、火気のあるところでは使用しないで下さい。

## 塗装

1. 塗装仕様書の塗布量は塗装時のロスを含む標準塗布量を示していますので、被塗物の形状等により多少の増減があります。
2. 膜厚は耐熱性に大きく影響を及ぼします。膜厚が厚くなりすぎると加熱時に膨れる恐れがあり（特にシルバー塗装の場合、ご注意ください）、薄くなりすぎると塗膜性能に悪影響を与えます（突端部・隅角部などご注意ください）。一度に厚く付けすぎたり、薄くなりすぎたりしない様、標準膜厚を厳守して下さい。
3. 300℃以上のタイプで、P S・P Zシリーズに上塗塗料をハケ・ローラー塗りされる場合は、ブリードが起りやすいので、上塗2回仕上げをおすすめします。
4. Cシリーズ仕上げの場合、色相によっては（隠蔽性）2回塗りをおすすめします。
5. 塗り重ねは、塗装間隔を守って下さい。
6. 炎天下で被塗物（表面）温度が高く塗装面に泡が生じる可能性がある場合や、稼働中の設備への塗装（熱間塗装）をする場合は、ご相談下さい（被塗物が150℃以下の場合）。
7. 気象の急変等により塗膜に異常が生じたときは、再ケレンを行い所定の工程で塗り直しを行う必要があります。

## 加熱

1. 塗装後、最終養生は出来るだけ長くとり、最低でも24時間以上（20℃）とって下さい。
2. 塗装後の初回昇温はゆっくりと使用最高温度まで昇温するようにして下さい。  
急激な加熱をした場合、塗膜中の残留溶剤と塗膜硬化時の反応ガスが大量に発生することにより、塗膜にフクレが生じて塗膜剥離の原因となります。  
（昇温速度の目安 200℃/1h以下）
3. 硬化には焼付けが必要です（焼付温度・時間の詳細は各シリーズ・各温度の標準塗装仕様書を参照して下さい）。

## その他

1. 安全に関する詳細な情報が必要な場合には、製品ごとの安全データシート（MSDS）を参照して下さい。
2. 改良などのため、予告なしに当資料の記載内容を変更する場合がありますのでご了承下さい。

## 大信ペイント株式会社

本社・営業部 〒532-0032 大阪市淀川区三津屋北3丁目3-2  
Tel. 06-6301-3431 Fax. 06-6302-0809  
大阪営業所 Tel. 06-6301-3431 Fax. 06-6302-0809  
東京支店 Tel. 03-3631-1351 Fax. 03-3631-8946  
名古屋営業所 Tel. 0562-47-2836 Fax. 0562-46-9026  
広島営業所 Tel. 082-282-6201 Fax. 082-282-6202  
福岡支店 Tel. 092-593-7211 Fax. 092-593-7235